



# 君津支部かわら版

VOL.51

令和2年1月31日発行

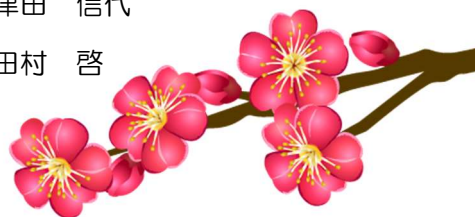
編集 君津支部広報委員会

発行 支部長 斉藤 孝一



建築と子供たちワークショップ Vol.13 8/31

- ◎新年ご挨拶 . . . 副支部長 松本 裕之
- ◎行政から . . . 君津市建設部住宅営繕課
- ◎台風におもう . . . 事業委員長 鶴岡 正久
- ◎納涼会兼新入会員歓迎会 . . . 青年委員長 藤本 祥
- ◎女性委員会 事業報告・事業予定 . . . 女性委員長 津田 信代
- ◎「建築と子供たち」ワークショップへ参加して . . . 田村 啓
- ◎君津支部納涼祭&新入会員歓迎会 . . . 田村 啓



## 新年のご挨拶

副支部長 松本 裕之

新年おめでとうございます。令和2年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。会員の皆様には、平素より建築士会君津支部の活動にご協力頂きまして、大変ありがとうございます。

昨年秋の台風により被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。統計を取り始めてから30年で一番大きなものでした。100年に一度の災害がいつ起きても不思議ではない時代になりました。自然災害の被害を少しでも減らすような意識を持つよう心がけて行きたいと思います。

ハザードマップの認識も大切です。貴重な資料です。ブルーシートで覆われた屋根を見ると心が痛みます。災害後の生活が想像されます。

河川では堆積した砂の撤去が行われています。街路樹も短くなりました。道路際の大木も随分と撤去されました。

いつ直るのかわからないブルーシートの屋根、雨水が入って内部がだめになっているものが多いと思います。時間がたつほど復旧ができなくなります。

いかに早い時期に雨を防げる状態にできるか、知恵を出していきたいと思います。

我が家も築50年以上経っており、瓦は飛ばなかったものの雨水が逆流して瓦の隙間から入ってしまい、天井、壁床が漏水被害に遭いました。建ててから初めての経験です。台風もそうですが、いつ大雪が降るのかわかりません。そうなったときに少しでも被害を少なくできるか、怪我等しないよう身の安全を守れるような心・意識の準備と対策を心がけたいと思います。災害に強いまちづくりに協力したいと思います。

最後に本年が会員の皆様にとって素晴らしいとしとなりますことを心よりお祈り申し上げます。



新年おめでとうございます。日頃より会員の皆様には君津市の住宅営繕行政へのご理解、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、元号も平成から令和へとなり新たな時代を感じさせる記念すべき年となりましたが、その一方で、9月には台風第15号からの一連の災害が発生し、千葉県のみならず全国各地に多くの爪痕を残しました。改めて被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

今回の台風第15号からの一連の災害では、改めて自然災害の脅威を目の当たりにすることになりましたが、こうした自然災害に対しては、日頃からの備えが何より重要となります。

君津市では、いつどこで発生してもおかしくない大地震に対して、「君津市耐震改修促進計画」を平成20年3月に策定し、既存建築物の耐震診断や耐震改修など、耐震化施策を総合的に進めてきました。

その一環として、人々の生活の基盤ともいえる住宅に対して、木造住宅の耐震診断や耐震改修への費用の補助を実施しています。こうした取り組みだけでなく、耐震改修を推進すべく、耐震改修と併せて行うリフォーム工事への補助などの制度も設けており、より一層制度を利用していただけよう努めているところです。

その対象は、平成30年4月からは、戸建て住宅だけでなく長屋や共同住宅も補助対象へと拡充を行い、平成31年4月からは、新たに耐震改修の際に必要な設計費用についても補助対象に追加しました。またそうした取り組みだけでなく、より耐震改修へ理解を深めていただくために、定期的に無料耐震相談会や、来場が難しい方を対象とした無料出前相談なども開催しており、このような取り組みを通して、耐震化に関する意識の醸成や建築物の安全性の向上を図り、地震による建築物の被害を最小限に留めることにより、市民の安全の確保へとつなげようとしています。

こうした中で昨年は、周期的に発生している東海地震に対して先進的な取り組みをしている静岡県富士市まで、君津市耐震改修促進協議会の皆様と視察に行っていました。君津市耐震改修促進協議会は、君津市と連帯して市内全域に耐震診断の実施を普及させ、既存建築物の耐震改修の促進を目的として設立された団体であり、君津市在勤、在住の建築士によって組織された団体です。

富士市では、建築指導課から住宅の耐震化に関する取り組みとして、『プロジェクト「TOUKAI（東海・倒壊）-0（ゼロ）』に基づいた耐震化施策についてお話をうかがい、効果的な普及啓発の手法や、耐震診断費用の無償化など、支援の体制について貴重な情報を得ることができました。

また富士市の住宅政策課からは、空き家バンク等、空き家の利活用についてのお話も伺うことができました。このような他の自治体の取り組みを知ることは、今後活用できる貴重な機会であったと感じています。

最後となりましたが、これから復興の道を歩んでゆくためにも、建築士会の会員の皆様をはじめとする建築技術者の方々のご協力が必要となりますので、重ねてお願い申し上げます。

千葉県建築士会君津支部のご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 台風におもう

事業委員長 鶴岡 正久

新年おめでとうございます。日頃より事業委員会の活動にご協力頂きまして誠にありがとうございます。本年もよろしくお願い致します。

いよいよ今年は東京オリンピックですね。建築士会の全国大会は、今年は広島大会で行われます。多くの方が参加してくれる事を楽しみにしています。昨年の函館で行われた北海道大会は、故 山田邦彦さんが色々と心配をしてくれたおかげで、君津支部からも3名の方が参加できました。私は、台風15号のために無念にもキャンセルしましたが、前支部長であり前県事業委員長でもありました、故 山田邦彦さんには大変お世話になりました。改めて感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈り致します。

昨年の自然災害は本当に大変でした。5月の親睦すだては、大雨で大変でしたが何とか開催できましたが、10月の本部主催の親睦ゴルフ大会も、友好4団体の合同講習会も台風の影響で中止になりました。9月9日の15号、10月12日の19号、その後の豪雨と続き、本当に大変でした。会員の皆さんも、ブルーシートをかければ風で飛ばされたり、瓦屋さんの代わりに屋根に上がり瓦を葺き替えたりと、高いところが怖いなんて言っていられないそんな状況だったと思います。瓦屋は来ないし、解体屋は来ないし、おかげで普段の仕事が全く手につかない感じでした。我が家も作業場の屋根が全部飛んでしまいました。自宅の屋根瓦も飛びました。当たり前ですがお得意さんの家の修理を優先しますので、自分の家は後回しです。それでもお正月返上で片づけて、なんとか解体しました。罹災証明発行事務のための現場調査の要請もありましたが、自分のことだけでぎりぎりを手伝うこともできませんでした。いざ自分が罹災民になってしまうと、ボランティアとしての仕事は何もできないものですね。

今まで千葉県では大きな災害があまりなかったので油断していた訳ではないでしょうが、君津地域は甚大な被害を受けました。豪雨の時も大変でした。亀山ダムの水が放流されていたらどうなっていたでしょうか。

災害に強い街づくりをするには、いろいろと問題ばかりです。

職人の人手不足は大きな問題です。しかも若い人がいなくて、高齢者ばかりです。

倒木の問題も大変です。山の手入れがなされず荒れているから倒木が起きる。そして、電線が切断されてしまう。土砂崩れも起きる。道路が通れない。悪循環です。

避難所不足も問題です。避難所の公民館が、停電したり、断水したりで、使用できないなんて考えもしなかったです。数えればきりがありません。

これが大地震だったらと思うとぞっとしますね。昔は、災害は忘れたころにやってくるといいましたが、今の時代は必ずいつ大災害が来るかわかりません。今年も必ずやってきます。行政をあてにしても間にあいません。もう他人ごとではありません。被災したからこそ感じます。最後は、個人レベルで一人一人が頑張るしかないです。がんばりましょう。

## 納涼会兼新入会員歓迎会

青年委員長 藤本 祥

令和元年8月10日(土)に納涼会兼新入会員歓迎会が行われました。かつては新入会員歓迎会は年1回、2~3月頃に行っていましたが、年1回だけですと新入会員が入会した時期によっては1年近く歓迎する機会がないため、数年前より事業委員会主催で毎年夏に行われていた納涼会に便乗する形で青年委員会と合同で行うようになりました。

今回会員のご家族含めて18名参加いただき、おかげさまで2名の新入会員をお迎えいたしました。例年とは志向を変えて支部でバスをお借りしてマザー牧場で開催しました。自宅への交通手段が自家用車のためになかなか酒宴の席に参加しづらかった会員でも参加できるよう君津支部4市を巡るコースおよび乗車場所を設定しましたが、いざ実際走ってみると改めて君津支部がいかに広いかを感じられます。



間近で上がる花火(写真中央は観覧車)  
(撮影：斉藤支部長)

夕方会場に到着し、夏の期間だけ行われる夜間営業でのバーベキューが始まりました。前年度に他所で行った時はあいにく強風の中行われ、火の粉や紙皿が飛び交うなど散々な目にあいましたが今回は絶好のバーベキュー日和でした。やがて夜も更け花火が上がり始めました。こちらは普通の花火大会ほどの玉数はないものの、有料観覧席並みの間近な位置でゆったりと花火を堪能できました。

来年度も納涼会を行う予定ですので、今回参加されなかった方や普段会に参加されなかった方も是非ご参加ください。

追伸

10月中旬で計画でした木材関連の見学会ですが、支部会員様における台風15号の被害対応に配慮して3月上旬に延期させていただきました。内容が決まり次第ご案内をお送りいたします。

〈事業報告〉

行事 「逃げ地図づくり」出前ワークショップ  
日時 令和元年5月22日(水) 16:00~18:00  
場所 木更津市文京 木更津ぐんぐん舎

行事 建築と子供たち Vol.13「竹灯籠を作ろう at ツリーハウス」  
日時 令和元年8月31日(土) 10:30~16:00  
場所 君津市糠田飛地896-1 (ツリーハウス建設地)

〈事業予定〉

行事 「落語家・防災士 林家久蔵氏」講演会  
日時 令和2年2月20日(木) 14:00~16:30  
場所 千葉県建築士会 建築会館8階会議室

平素より、建築士会及び女性委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。

台風で被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

5月22日、木更津市にある学童保育施設「ぐんぐん舎」にて「逃げ地図づくり」出前ワークショップを開催しました。「逃げ地図」とは、正式名称「避難地形時間地図」と言い、避難場所までの経路を徒歩で3分ごとに色分けする手作りの地図のことを言います。避難経路が色分けされることで、直感的に危険な場所と逃げる方向を理解することができます。ワークショップでは、ハザードマップや避難場所を示した防災マップをよく見て、この地域でどのような自然災害が起こりうるか、あらかじめ想像をして白地図に避難場所や危険な場所を書き込みました。「逃げ地図づくり」を通して、子供たち、先生方と真剣に防災や避難について語り合う場ができ、リスク・コミュニケーションの促進に繋がりました。「逃げ地図づくり」出前ワークショップは、今後も継続する予定です。皆さんも「逃げ地図」を作ってみませんか？！

8月31日には、建築と子供たち Vol.13「竹灯籠を作ろう at ツリーハウス」を開催しました。内容は、君津支部のホープ、田村さんの記事の通りです。今回も皆様のご協力により無事に終えることができたことに感謝いたします。3月に青年委員会と合同で見学会を予定しております。年度末で何かとお忙しいとは存じますが、会員の皆様のご参加をお待ちしております



## 「建築と子供たち」ワークショップへ参加して

君津支部 田村 啓

まだまだ暑さが続く 8/31 に、第 13 回を数える、「建築と子供たち」ワークショップへ参加しました。私は今年度より入会したため、小学 2 年生になる息子と 2 人で初めての参加でした。

地元で毎年、開催されているイベントということで、これに参加することが入会の中から楽しみにしていたことのひとつでした。

ツリーハウスは標高の高い、緑の深いところにあり、市街地のうだるような暑さから解放され、清々しく感じました。

イベントはスタンプラリー形式で、メインであるツリーハウス診断だけでなく、木を輪切りにした名札づくりや、最後の流しそうめんで使用するマイ食器づくり、普段作れない大きさのシャボン玉体験など、子供も楽しみっぱなしのタイムスケジュールでした。



メインのツリーハウス診断では、そして、息子が初めて機械を使った釘打ち体験をしました（今さら考えてみたら、私はしたことがないかもしれないです）。平日は普段、私は息子と顔を合わせることがないので、父親の仕事に近い、「建築」を体感するのは、良い経験になったのではないかと思います。

個人的には、竹を用いたマイ食器づくりに、はまってしまいました。めんつゆを入れるための竹を輪切りにした食器ひとつにしても、食べやすく、かつケガしないように角を落とそうとか、色々考えることができます。いつの間にか、息子そっちのけで、箸をいかに細く、使いやすく削るかということに熱中していました。



そして、最近、やれる場所がないことや、手間がかかることから、なかなかできない、竹を使った流しそうめんも、父子共に楽しい体験でした。（帰りの車の中で息子に感想を聞いたところ、そうめん以外のトマトやゼリーが楽しかったということでした。）

読んでいただいて分かる通り、ツリーハウスも良かったのですが、それに付随するイベントが楽しく、そこでの印象が強く残っています。「建築と子供たち」というイベントですが、大人も楽しめると思いました。大人が建築を通じて（？）楽しんでいる様子を見れば、子供も無邪気に楽しめ、建築に対して興味をもってくれるのではないかと思います。

この日のために膨大なご準備をいただいた主催の女性委員会をはじめとした建築士会の皆さまに感謝です。来年はぜひ、ビールを飲みながら参加したいと思っています。

## 君津支部納涼祭&新入会員歓迎会

田村 啓(君津)

いつもより遅い梅雨明けを挽回するかのような晴天の 8/10(土)、建築士会君津支部の納涼祭&新入会員歓迎会を行いました。場所はマザー牧場でした。



マザー牧場到着(爽やかな晴天)

参加者は、建築士会既会員の皆さまと、新規会員の薄葉さんと私、そしてゲストとして市川・浦安支部の山中広報委員長の 18 名がいらっしゃいました。

大型二種免許所有の藤本氏の運転で、20 人乗りのマイクロバスにて修学旅行のように、ワイガヤしながら到着、少し小高い山の上の頂上付近にあるので、君津・木更津の街中より一段と涼しく、さわやかな風が通ります。



バス車内の様子

到着直後にサーバーの生ビールで乾杯。ジンギスカンとビールの相性は最高でした。また、マザ

ー牧場名物の飲むヨーグルトをソーワで割った、ヨーグルトソーワは意外と飲みやすいです！



生ビールとジンギスカン



新入会員・支部長テーブルでの乾杯！

この時期のマザー牧場では、19:50 から 15 分間、花火が打ちあがります。500 発の花火は、それ自体は大きくないものの、花火の破裂の閃光と同時に音が聞こえるほど近距離で打ち上げており、私の経験にはないほど、大迫力でした。



大迫力の花火

終わったばかりですが、来年の納涼祭が楽しみです！



#### 編集後記

年号改めの始まりが、被災千葉元年となってしまったような昨年でした。

復興には、まだまだ程遠い新年を迎えました。

そんな中、我々は災害に対する備えの大切さを大いに考える良い機会となりました。

大工さんはじめ各職人さんには復興に向けて、お体壊さないよう気を付けていただきながらご尽力くださいますようお願いいたします。

今号のかわら版では新入会員の田村さんをはじめ皆様のご協力で、素敵な写真をたくさん掲載することができました。ありがとうございました。

今年もよろしく願いいたします。

かわら版についてのご意見、ご希望がありましたら下記アドレスまでお寄せください。  
お待ちしております。

アドレス：[emiko-daishima@hb.tp1.jp](mailto:emiko-daishima@hb.tp1.jp)

広報委員長 代島 恵美子



#### 事務局

〒293-0001

千葉県富津市大堀1335番地

TEL・・・090-6103-7185

FAX・・・0439-29-7272

E-mail・・・[chibakenchiku@sikaikimitu.parallel.jp](mailto:chibakenchiku@sikaikimitu.parallel.jp)

